

文学から何を学んだか

小倉金之助

私は文学についてき、古くの素人であるが、
人間形成の上でも、また学問研究の上でも、
工学から相当大きな影響を受け^てきたと、自分では
思っている。

私は年少のころ自然科学（とくに化学）に
熱中して、文学には~~ほとんど~~関心をもちな
かった。家庭の事情で大学を中途退学し、郷里
にかえ、~~二~~家量についていたが、それでも学問を

時の自然主義文学は、自然主義^の文学として、
 どんなに貪しく歪曲されたものであつたにせ
 よ、とにかく従来^の因襲^的な道徳や封建的家
 族制~~を~~、あつたはこれまひ押し隠してきた性
 慾の衝動などを大胆に押し上げて、これまひ~~の~~青
 年が何となく学ぶことのできなかった、人生の
 眞実の半面をうかがわせてくれたのがたつた。

獨歩の「獨集集」、~~の~~「運命」、藤村の「破戒」、「春」、
 花袋の「蒲団」、「生」、「田舎教師」——こういった作品
 を通じて、私の前には新しい人生觀が開々

ときた、私はけ、きよく家業を捨てて学問の
 道に ~~志す~~^{進ん} ~~た~~、たのであつたが、これ^には他の
 理由もあつたにせよ、~~先づとも~~ ~~思想的~~
 自然主義文学に負うところ^が大きかつた、
 といつても、誇張では^{ない} ~~ある~~ ~~まい~~ ~~とおも~~ ^{おほ}う。
 そればかりでは^{なかつた} ~~な~~ 私は自然主義文学と
 通いて、曲りなりにも ~~批判的精神~~、科学的精
 神を浮んだのであつた。じつさい、~~そ~~ ^そこの学校の~~では~~、
~~教育から科学的な精神を浮かせることをせよは、~~
~~強人に不可能だつた。~~ 数学の時間^に ~~数学~~ ~~学~~
 は ~~お~~ ~~の~~ 既成の

の問題を^解き、物理・化学の時間^に、多少の
実験を^{見る}、~~大い~~、~~い~~人々^{既成の}法則を暗記^{させ}るは可

上の
諸現象

り、~~科学教育~~ ^{とは} ~~は~~ ~~科学~~ ~~の~~ ~~大い~~ ~~科学~~
知識の^{断片} ~~蒐集~~ ^{を覚えさせること}、自然や~~生活~~ ~~を~~ ~~おぼ~~ ~~え~~ ~~る~~ ~~こと~~、
遇きあひ、~~物~~ ~~事~~ ~~を~~ ~~科学~~ ~~的~~ ~~の~~ ~~人~~ ~~見~~、~~科~~

学的^な 考え~~を~~ ~~科学~~ ~~的~~ ~~精神~~ ~~を~~ ~~学~~ ~~び~~ ~~て~~ ~~来~~ ~~た~~、^{左とは} ~~科学~~ ~~的~~ ~~精神~~ ~~を~~ ~~学~~ ~~び~~ ~~て~~ ~~来~~ ~~た~~、
~~な~~ ~~っ~~ ~~た~~、^{ようと} ~~か~~ ~~え~~ ~~っ~~ ~~て~~ ~~私~~ ~~は~~ ^{皮肉い} ~~自然~~ ~~主義~~ ~~文~~ ~~学~~ ~~の~~ ~~洗~~ ~~礼~~ ~~を~~

うけることによつて、少くとも人生の真実を~~見~~
探求しようとする、一種の科学的~~な~~精神の目ざ
めさせられたのである。

ほとんど
不可能
であ

やかして職業的数学者^{して立つよう}となつてから~~も~~、私は
 文^の字^のいろいろの意味で~~も~~影響を受け~~た~~。たとえば、
 まが~~た~~、大学の助手時代^に、ルソーの「懺
 悔録」をよんで、自由・獨立の精神が人間に
~~とつて~~ ~~どんな~~ ^{こゝにある}に尊^いかを、徹底的に教へられた。
 つづいて、第一次^{世界}大戦後、向もなく、パリの痛むバ
 ルビュスの小説「クラールテ」を読んだときの感
 謝は、いまでも忘れることができない。国家~~と~~
 戦争~~の~~の意味について、私ははじめて眼
 を開^{かせ}たのである。

民衆~~の~~

かせた

$$= \frac{4}{9}$$

その後、療養生坊を~~送り、い~~~~き~~に上ん

だ、トルストイの「藝術とは何か」の序に見え

~~ある~~ ヒューマニスティックな経済論。それはあ

まりん ~~の~~ 偏狹な見解 ^{である拘わらず;} ~~の~~ ~~の~~ ~~であ~~ ~~る~~ ~~な~~ ~~か~~ ~~ら~~ ~~ず~~

いわけ³ 科学の ため¹の 科学²」に 対する ¹トールス

トイの激しい批判は、私の科学観を大きく~~変~~改

り動かしてくれた(前掲「一教は若の回惣」) = 0

— ٦٥ —

旅行の全~~中~~中、何~~なん~~んがな~~か~~か
~~の~~の~~接~~接~~会~~会~~を~~を
 やかして健康を取戻してから、荷~~り~~り~~を~~を
 旅行の全~~中~~中、何~~なん~~んがな~~か~~か
 の~~接~~接~~会~~会~~を~~を
 やかして健康を取戻してから、荷~~り~~り~~を~~を

~~車~~ 一読した⁽¹⁾, 70レハ一 / 7の「階級

社会の「芸術」は、数学史の研究に大きな~~影響を~~

これは ~~いい~~ いあったが、

12

示 12 交

BBB 10×20

汽車

5えて呉れた。私の数学史の研究は、^{いっ}数学の
 社会性・階級性の検討から出発したのである。
 (前掲書、二〇三ページ参照)。

もうこれ以上、^い実例を加える必要はあるま
 いとおもう。このようにして、私は半世紀の
 間、~~大體はおいて~~、^{から}文学^{から}、《人間いかに生く
 べきか》の問題^に、~~何~~^{なんら}かの示唆を求めて来
 たし、今日でも^い文学から人間のあり方を学ば
 せ^いている。だから、現代に生きる人間と
 して、個人の心の内面ばかりでなく、社会人

としての生活やまた社会の問題をも、まてい
に持上げた優れた作品が、もっと現われてほ
しいのである。

ところが、表面的には^は文学~~は~~隆盛時代^を~~と~~ある
かのように見える今日、~~おいては~~^私の~~必要~~
~~望~~などとはむしろ正^反対^は、独占的マス・コ
ミュニケーショ^{の重圧}ン^をによ^る、文学の類~~は~~^廃現象
~~は~~^は、すでに私たちの眼^の前に現われて~~は~~いる。
心ある~~諸~~読者諸君は、流行のベスト・セラーなど
を追わないほうがよい。むしろ信頼のできる

文学史——たとえば筑摩書房版「現代日本文
学史」(現代日本文学全集別巻)など——に高
く評価されている作品のなかから、自分の好
みにしたがって、適当なものを選ばれてはど
うか、とおも~~われ~~る。
う。